

新しく着任した地域おこし協力隊を紹介します！

地域おこし協力隊とは、都市部から地方へ移住し、地域の資源や魅力を生かした活動を通じて、地域の活性化や交流人口・関係人口の創出・拡大に取り組む人材です。

町では新たな地域おこし協力隊を迎えたのでご紹介します。



魅力向上・集客促進活動に取り組む隊員

則包 高希さん

①寄居町の地域おこし協力隊に着任したきっかけ

埼玉県でサイクリングガイドを14年続ける中で、寄居町の地形と歴史の豊かさにずっと惹かれていました。この魅力を旅の形にして届ける仕事に、腰を据えて取り組みたいと思ったのがきっかけです。

②寄居町で取り組みたいこと

自転車です町を楽しむ仕組みづくりです。電動アシスト自転車なら、坂道も年齢も関係ありません。町をぐるりと一周する81.5kmのコース「よりいち」をはじめ、寄居を再発見できるルートやイベントを育てていきます。

③町民の皆さんへひとこと

自転車の速度で走ると、車では見過ごしてしまう寄居の宝物が次々に見えてきます。町で私を見かけたら、気軽に声をかけてください。皆さんの「当たり前の風景」の話を、ぜひ聞かせてほしいです。

①寄居町の地域おこし協力隊に着任したきっかけ

母の実家がある小川町の赤十字病院で私は生まれました。その後、神奈川県で育ち、結婚、子育てを経て仕事も一区切りを迎えました。これからは自分のルーツである埼玉地域に恩返しをしたいという想いから地域おこし協力隊に着任しました。

②寄居町で取り組みたいこと

寄居町に来て、一番素晴らしいと感じたのは「人」の温かさです。このすてきな寄居人の皆さんの姿を、町内のみならず町外にも伝えていくことが私の大切な役割です(Instagram@yorii_60参照)。皆さんの「寄居愛」が詰まったこの町だからこそ、町外の方にも「遊びに行きたい」「住んでみたい」と、寄居町を好きになってもらい、たくさんのつながり(関係人口)をつくっていききたいです。

③町民の皆さんへひとこと

町民の皆さんから温かいお声をかけていただき、日々励みにして活動しています。皆さんの「地元を大切にしたい」という強い想いをあらゆる場面で実感しています。その大切な想いをカタチにする一助になれるよう全力で努力してまいります。これからもどうぞよろしくお願いいたします。



移住等支援活動に取り組む隊員

滝口 裕一さん

こちら編集室

まだまだ残暑が厳しい日が続いていますが、暑さの中にも少しずつ秋の気配を感じる9月がやってきました。朝や夕方の方風がわずかに涼しくなったり、季節は着実に移り変わっているようです。●それにしても、あれほど暑くて「早く涼しくなつてほしい」と思っていた夏も、過ぎ去ってしまったような感じが物寂しい気持ちになります。この時期になると、少し名残惜しさを感じてしまいます。●さて、今月号の表紙は、8月1日に開催された寄居玉淀水天宮祭の二コマです。5艘の舟山車を彩るように、夜空に大輪の花火が咲く瞬間を捉えました。花火の撮影は思いのほか難しく、暗闇の中でカメラの設定を何度も調整しながら、何とか表紙の一枚を撮影することができました。●まだこれから始まる秋も、皆さんにとって素敵な季節になりますように。②

寄居町公式SNS随時情報発信中！



町公式YouTubeチャンネルでは、行政情報やイベント情報を動画で紹介しています。8月1日に開催された寄居玉淀水天宮祭の様子も公開していますので、ぜひご覧ください。

YouTube



8月1日の町人口

31,280人 男15,591人 女15,689人 世帯数15,439世帯

7月中の動き

出生11人 死亡37人 転入128人 転出75人